

## 第56回プログラミング・シンポジウムの開催にあたって

今年も無事にプログラミング・シンポジウムを開催することができました。発表者の方々、御参加の方々に心より感謝申し上げます。

本シンポジウムの開催趣旨については、「論文募集」のページに以下のように書かれています。

学術論文発表の場であると同時に、多方面の人々の共通の討論の場であり、意見交換の場であると考えています。研究としては未完成であっても将来に影響を与えるような話題を歓迎します。

本シンポジウムの特徴は、「プログラミング」というキーワードのもとに、幅広い様々な参加者が集まるという点にあります。ここでの「幅の広い」には、「特定の専門分野にかたよらず様々な分野の人がいる」ということと、「アカデミックな研究に軸足を置いた人も実用的なシステム開発に軸足を置いた人も（あるいは両方を手がけている人も）いる」という、二つの意味合いがあります。本シンポジウムは、このような多様な参加者と直に顔を合わせ話をするのできる稀有の機会です。特に若い参加者、発表者の方々は、このような機会を是非とも有効に活用して、今後に役立てていただきたいと思います。特に、21時から始まる自由討論（懇親会）への積極的な御参加を期待します。

学生による発表論文を対象を限定した「コメントフィードバック」は2年目を迎えました。前は7件（うち1件は後に取り消し）の申し込みがありましたが、今回は4件の申し込み（うち1件は後に取り消し）にとどまり、残念ながら数は半減してしまいました。コメントフィードバックは、研究の方向性や関連する研究、論文の書き方など、論文著者の学生の皆さんにとって、様々な視点からの有益なコメントを得ることができる仕組みです。提出された論文を読んで1週間ほどでコメントを返す役割を担っているのは、本シンポジウムの委員長と幹事団です。是非ともこの制度を活用し、委員長、幹事団の首がまわらなくなるくらいのコメンフィードバックの希望が寄せられるよう、学生指導をなさっている先生方におかれましては、よろしくお願い致します。

昨年の夏のプログラミング・シンポジウムは、3年前の「ビューティフルコード」、2年前の「ビューティフルデータ」に続く「ビューティフル・インターフェース」というテーマで、都内で日帰り、参加費無料という方式も踏襲し、2014年8月24日に開催しました。当日は79名の参加者が集まり、活発な議論が行われました。幹事の前田敦司先生、丸山一貴さん、中山心太さん、三廻部大さん、また会場を提供くださった株式会社ドリコム様、どうもありがとうございました。

第47回情報科学若手の会は、2014年9月13日から15日まで、静岡県伊東市の山喜旅館で開催されました。参加者は、招待講演の方を含めて51名と盛況でした。これだけの数の元気ある若手が集まり自主的な運営がなされるのは、心強い限りです。幹事の浅野智之さん、會川景介さん、橋本竜也さん、山下美穂さん、小谷大祐さん、岩成達哉さん、大島孝子さん、辻順平さん、どうもありがとうございました。

現在の幹事は、長慎也さん、中山心太さん、松崎公紀さん、三好建文さん、山田浩史さん、横山大作さんです。前年度から幹事団に変化はありませんが、今年度末で長慎也さんが御退任の予定です。なお今回のシンポジウムは、株式会社フィックスターズ様からスポンサーとしてのご支援をいただいております。

プログラミング・シンポジウム委員会

幹事長 岩崎 英哉 (電気通信大学)